



**アートスパークホールディングス株式会社**

**2019年12月期 第2四半期**

**決算説明補足資料**

# 目次



## 1.業績ハイライト

1-1.連結損益計算書 . . . . . 2

1-2.連結貸借対照表 . . . . . 3

1-3.事業セグメント別損益の状況 . . . . . 4



## 2.事業セグメント別の概況

2-1.クリエイターサポート事業 . . . . . 5

2-2.UI/UX事業 . . . . . 6



3.今期の主要施策 . . . . . 7

# 1-1.連結損益計算書

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2018年 12月期 第2四半期	2019年 12月期 第2四半期	前年同期比	2018年12月期 通期
売上高	1,923,007	2,534,385	31.8%	3,789,652
営業利益	302,431	246,339	△18.5%	374,886
経常利益	289,943	236,462	△18.4%	357,679
純利益	249,644	175,767	△29.6%	334,144

## ■業績の概況

- ・売上高：前年同期611,377千円増加
- ・営業利益：のれん償却費99,817千円の発生により、前年同期56,091千円減収
- ・経常利益：営業外費用で支払利息等の合計10,475千円により236,462千円の経常利益
- ・純利益：税金費用等により175,767千円の純利益

## ■トピックス（2019年1月～6月）

- ・ソフトウェアIPを核とした経営に重点、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力

# 1-2. 連結貸借対照表

単位：千円

	前連結会計年度末 (2018年12月末日)		当連結会計年度第2四半期末 (2019年6月末日)		
	金額	構成比	金額	構成比	前期末増減額
流動資産	3,279,406	75.3%	4,292,815	58.0%	1,013,409
固定資産	1,075,155	24.7%	3,111,873	42.0%	2,036,718
繰延資産	—	—	—	—	—
資産合計	4,354,561	100.0%	7,404,688	100.0%	3,050,127
流動負債	666,971	15.3%	2,582,796	34.9%	1,915,825
固定負債	210,792	4.9%	347,316	4.7%	136,524
負債合計	877,764	20.2%	2,930,113	39.6%	2,052,349
純資産合計	3,476,797	79.8%	4,474,575	60.4%	997,778
負債・純資産合計	4,354,561	100.0%	7,404,688	100.0%	3,051,127

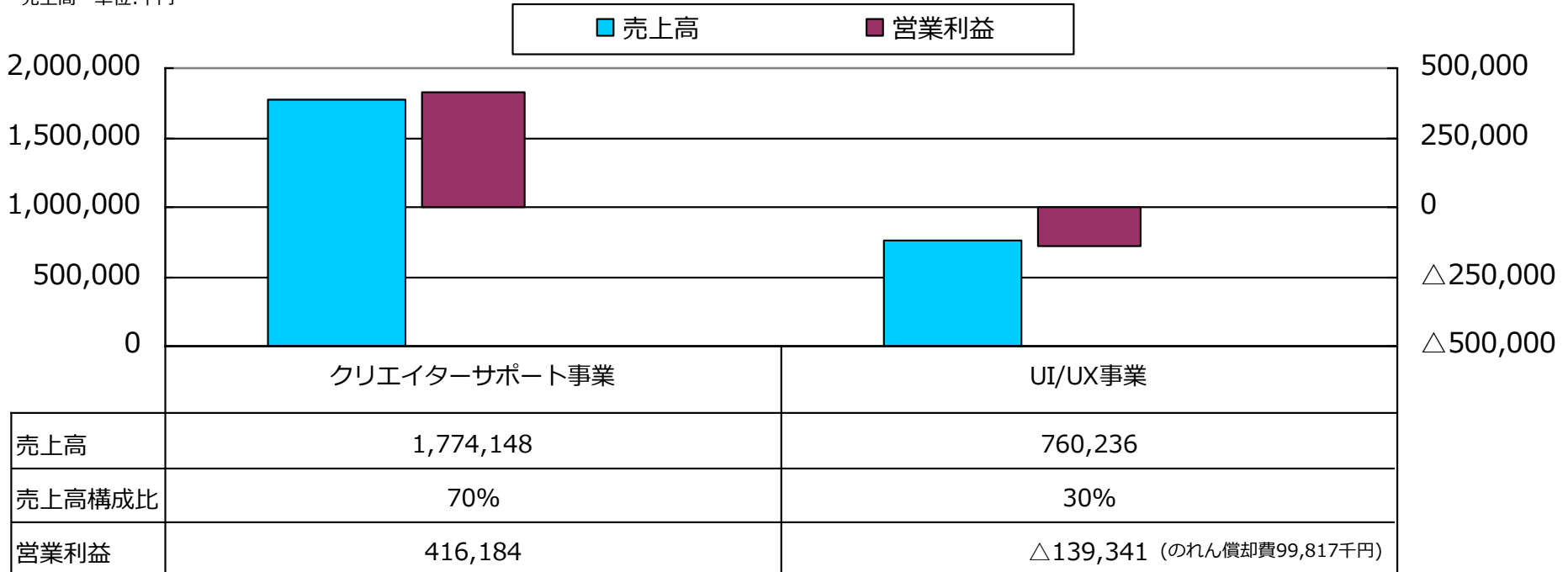
## ■ 主な増減の内容

- ・ 資産の部 : 現金及び預金の増加+592,424千円、売掛金の増加+200,977千円、のれんの増加+1,896,537千円
- ・ 負債の部 : 短期借入金の増加+1,450,000千円、未払法人税等の増加+79,081千円  
一年以内返済予定の長期借入金の減少-18,080千円
- ・ 純資産の部 : 当期純利益計上により利益剰余金の増加+141,788千円、資本金及び資本準備金がそれぞれ427,539千円増加

# 1-3.事業セグメント別損益の状況

売上高 単位:千円

営業利益 単位:千円



## ■売上高

- ・クリエイターサポート事業は26.3%増加、UI / UX事業は46.6%増加

## ■営業損益

- ・クリエイターサポート事業は40.9%増加、UI / UX事業は140,902千円減少

## 2-1.クリエイターサポート事業

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2018年 12月期 第2四半期	2019年 12月期 第2四半期	前年同期比	2018年12月期 通期
売上高	1,404,469	1,774,148	26.3%	2,903,801
営業損益	295,455	416,184	40.9%	472,096

### ■業績の概要

- ・売上高では、対前年同期369,679千円の増加となり、営業利益では、対前年同期120,729千円の増加となりました

### ■トピックス (2019年1月～6月)

- ・自身が制作したマンガ等の作品を共有するためのサービス「CLIP STUDIO SHARE」が、コミックマーケット準備会と「Circle.ms」が共同運営するWebカタログ及び同人サークル情報の電子カタログ「NAVIO」と連携
- ・株式会社アムタスの電子書籍配信サービス「めちゃコミック」で、電子書籍ソリューション「CLIP STUDIO READER」を利用した、WEBTOON作品の閲覧が可能に
- ・株式会社講談社のコミックが「CLIP STUDIO READER」の縦スクロール・コマ表示での配信を開始

## 2-2.UI/UX事業

単位：千円

	期間比較(1月～6月)			※ご参考
	2018年 12月期 第2四半期	2019年 12月期 第2四半期	前年同期比	2018年12月期 通期
売上高	518,538	760,236	46.6%	885,850
営業損益	1,560	△139,341	—	△67,423

### ■業績の概要

- ・売上高では、対前年同期241,698千円増加となり、営業損益では、のれんの償却費99,817千円の影響により、対前年同期で140,902千円の減少となりました

### ■トピックス（2019年1月～6月）

- ・「exbeans UI Conductor」のセイコーエプソン株式会社のプリンターへの搭載台数が累計で560万台を突破
- ・大手OEMの車載機器向けサービスソフトウェアに採用されている、移動体向け車載情報伝達ソフトウェアの累計出荷台数が、北米市場を中心に350万台を突破
- ・MAN Truckのフルデジタルのメイン制御パネルに「CGI Studio」が実装
- ・Candera GmbHの日本およびアジア地区における営業、開発およびサポートを目的とした株式会社カンデラジャパンを設立

## 3. 今期の主要施策

1. ソフトウェアIPを核とした経営に重点
2. 引き続き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力
3. CLIP STUDIOの開発・サービス提供を強化し、グローバル展開を更に加速
4. CLIP STUDIOプラットフォームを活用したコンテンツ制作・流通・再生にまつわる提供サービスの開発
5. 自動車を中心とした様々な組込機器向けにノウハウを集中、ビジネスを強かに推進
6. 自社IP製品(UI Conductor、CGI Studio等)の機能強化に向けた開発に注力
7. グループシンナジーの創出による開発力の強化



## 3-4.CLIP STUDIOを活用した提供サービスの開発

クリエイターに必要な”すべて”をつなぐ

ソフトウェア

プロセス

環境

サービス

人

情報・コンテンツ

準備

2D・3D・電子書籍で培った  
ノウハウの融合により、  
クリエイターに新たな価値を提供

発表

CLIP STUDIO

全世界でユーザーを拡大していくために  
必要な機能・サービス開発

制作

## 3-5.exbeans UI Conductor (エックスビーンズ ユーアイ コンダクター)



### 組込HMIを開発するための統合的なソフトウェア群

ツール上で素材配置、インタラクション設定、アニメーション設定をオーサリングした、プロジェクトデータを実装環境上で量産開発することができます。

市場ニーズに応じ、随時バージョンアップを行っており、最新バージョンでは、「ビューモデル」、「ビューステートエディタ」機能を搭載し、UIの表現力と、3Dのパフォーマンスが向上しております。

## 3-5. CGI Studio (シージーアイスタジオ)



### UI/UX事業の製品力と販売力を強化

「自動車市場及び家電分野向けの理想的なHMIソリューションを提供するために、すべての活動に専念する」というミッションのもと、スケーラブルでハードウェアに依存しないHMI及びGUI設計ソフトウェア「CGI Studio」等の提供を行い、欧州を中心に大手自動車メーカー向けにOEM供給を行っております。



本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2019年6月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見/予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。